



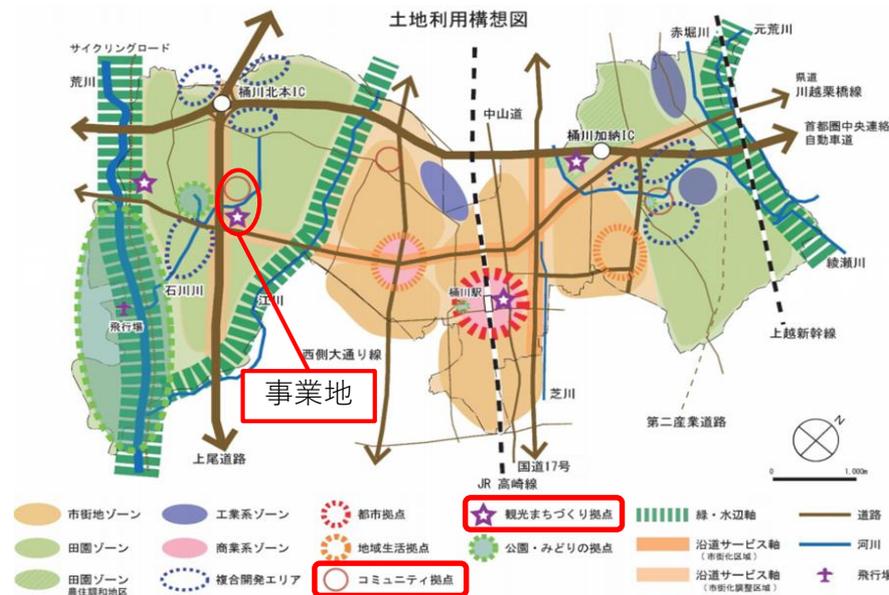
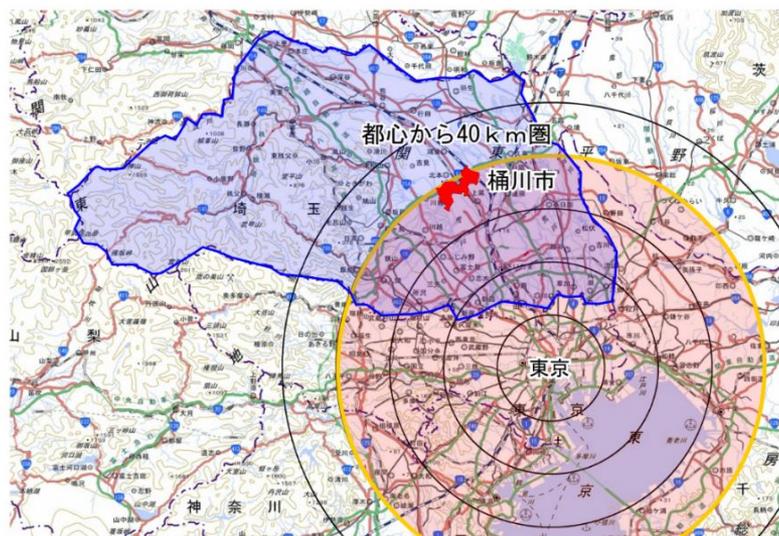
1. 市の概要

面積：25.35 km² 人口：74,448人（令和6年1月1日現在）

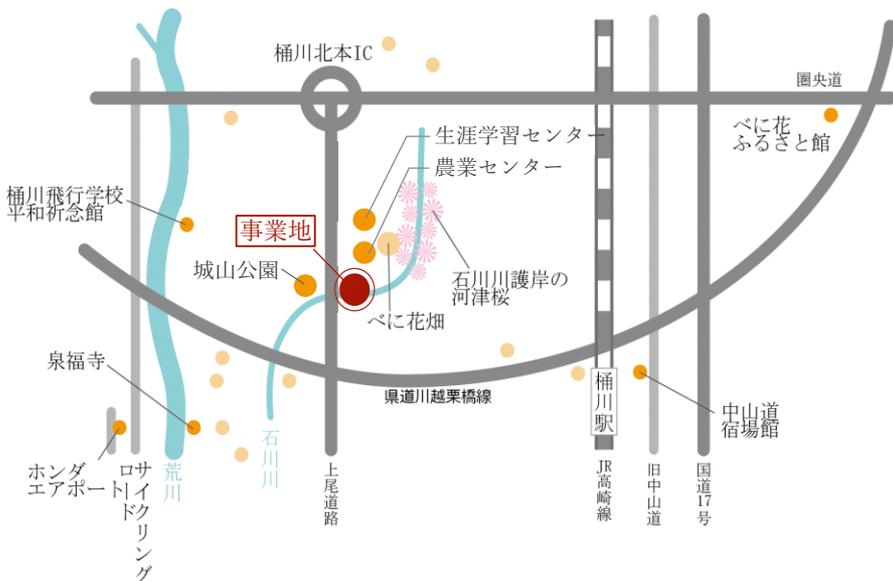
- 都心から約40km圏（電車で約50分）、埼玉県の中央部に位置している。
- 市の中央部をJR高崎線、中山道、国道17号が、市の西部を上尾道路が南北に縦断している。
- 圏央道が市の北部を横断しICが2ヶ所開設されている。
- 広域交通網の結節点として、高い交通利便性を有する。



桶川市
マスコットキャラクター
「オケちゃん」

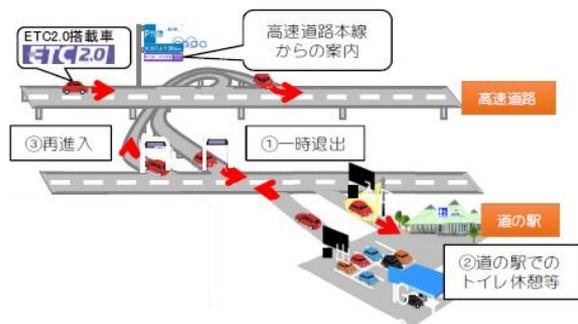


1. 事業地周辺の主な施設



「高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験」の対象に選定

E T C 2. 0 搭載車で、高速道路を一時退出しても、道の駅に立ち寄り、2 時間以内に再進入した場合、降りずに利用した料金のみとする。

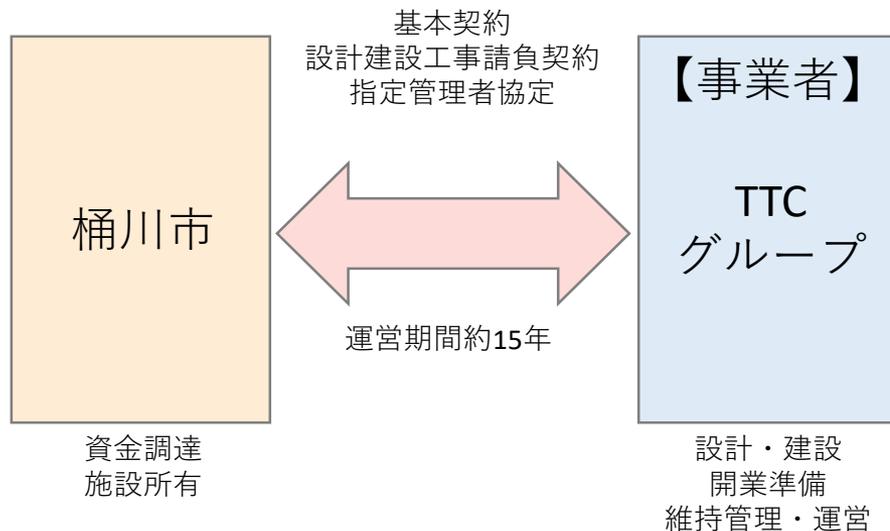


2. これまでの主な経過と今後の予定

主な経過と今後の予定	年度	内容
	平成22年度	川田谷農産物直売所に関する懇話会
	平成24年度	基本構想と要望書の提出
	平成25年度	大宮国道と協議開始
	平成26年度	基本計画の策定
	平成28年度	整備計画の策定 大宮国道と基本協定の結結
	平成29年度	民間活力導入可能性調査 農用地区域からの除外手続
	平成30年度	用地取得開始
	令和元年度	市整備範囲用地取得完了 整地工事完了、事業者選定着手
	令和2年度	事業地全体の用地取得完了
	令和3年度	事業者公募にかかる実施方針の公表
	令和4年度	事業者公募、優先交渉権者の決定、 契約締結、設計
令和5年度	設計、建設	
令和6年度	建設、開業準備 指定管理者の指定 道の駅開業（令和7年3月）	

3. 事業スキーム

DBO(Design Build Operate)方式
 ※施設の設計・建設から維持管理・運営までを
 一体で民間事業者へ発注する方式



【期待される効果】

- ・ 一体発注による、業務効率化及び事業費縮減
- ・ 事業者ノウハウを活かした、サービスの質の向上

4. 事業者の構成と役割

事業者：TTCグループ

区分	事業者名	役割
代表企業	株式会社TTC	開業準備 維持管理・運営
構成企業	株式会社ヤマト	設計・建設
構成企業	株式会社エムロード 環境造形研究所	工事監理

株式会社TTCの道の駅運営実績

- ・ 木更津 うまくたの里（千葉県木更津市）
- ・ 伊豆のへそ（静岡県伊豆の国市）
- ・ なんぶ（山梨県南部町）
- ・ 伊豆月ヶ瀬（静岡県伊豆市）
- ・ 足柄・金太郎のふるさと（神奈川県南足柄市）
- ・ くるくるなると（徳島県鳴門市）
- ・ 常総（茨城県常総市）※令和5年4月開業

かつて「紅花宿」とも呼ばれ繁栄した桶川。

格子や下屋、切妻など、宿場が持つ江戸の情緒を取り入れたデザインは、歴史と文化を継承しつつ、現代から未来へと発展を遂げる、これからの時代の桶川を表現しています。

木戸をくぐり、長屋を通り、「べに花」をモチーフにデザインしたイベントスペースは、江戸時代に桶川臙脂（えんじ）として親しまれた桶川の「べに花」文化を未来へつなぎ、新たな縁を育み発信する道となるよう「べに花縁路（えんじ）」の名称として、桶川の新たなランドマークとなります。



つなぐ

縁

つなげる

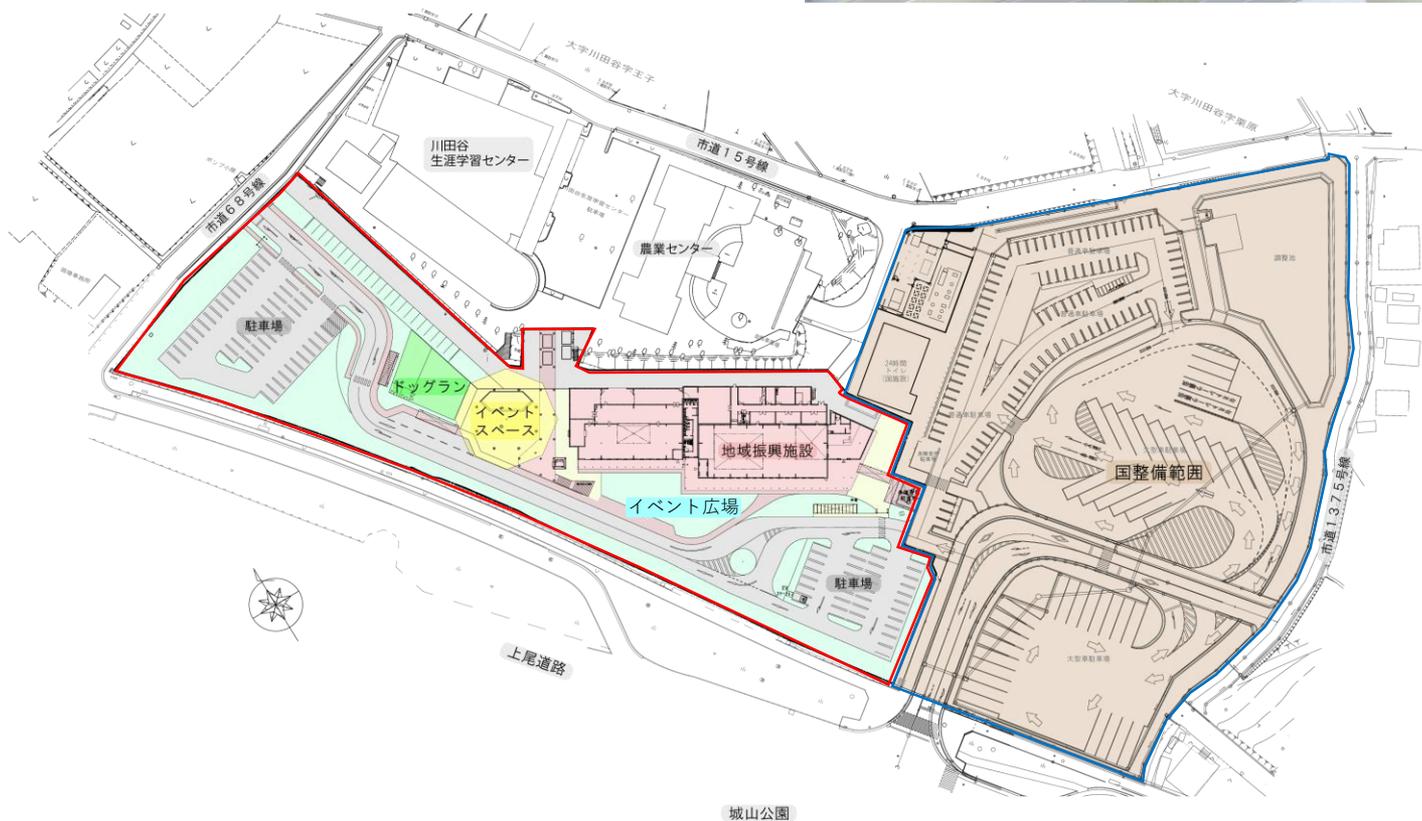
つながる

【市整備範囲】

敷地面積	約1.2ha
地域振興施設	約1,900㎡
駐車場	小型 89台
イベントスペース	約580㎡

【国整備範囲】（参考）

敷地面積	約1.7ha
24時間トイレ、交通情報提供施設、 駐車場（小型 105台、大型 43台）、 調整池、防災倉庫、防災トイレ 等	
※今後の設計により変更になる場合があります	



4. 地域振興施設の概要

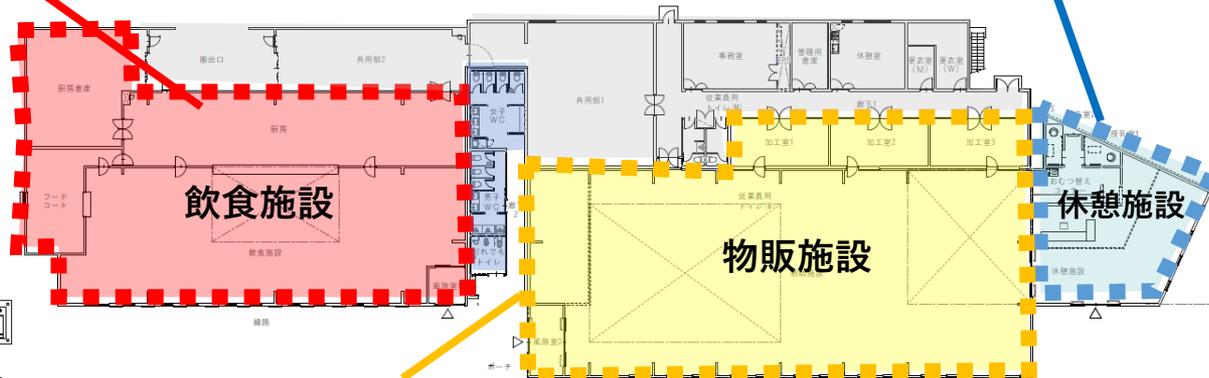
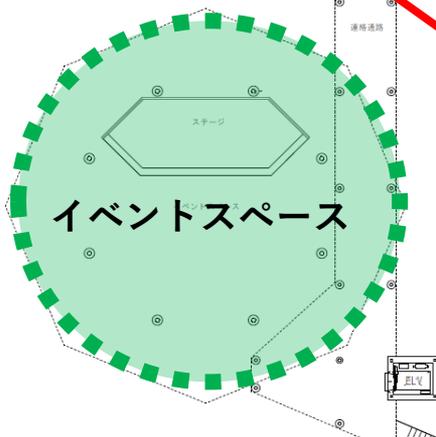
《飲食施設》

- ・ イートインのフードコートと軽食、テイクアウトも予定
席数は150~200席を予定（内外）
- ・ 市内産品を原料や食材に使用
- ・ 市内の方も市外の方もどちらも楽しめるオリジナルメニューを構成



《休憩施設》

- ・ 市内の観光マップや観光周遊ルートの案内
- ・ デジタルサイネージ等を活用し非接触でも市の情報を発信
- ・ 授乳室とおむつ替えシートのある「赤ちゃんの駅」



《イベントスペース》

- ・ スペース全体を大屋根でカバー
- ・ 発表会などに利用できるステージ
- ・ 災害時には支給された救援物資を集積



《物販施設》

- ・ 農産物、土産物等の加工品だけでなく地域の方向けの生活必需品も販売
- ・ 市内で生産、加工された商品や「桶川市観光協会推奨品」を優先的に販売
- ・ 既存の商品以外にも事業者が独自に新たな特産品を開発
- ・ 地元の生産者や企業と連携し、道の駅オリジナル商品を開発

